

資料提供
(県政・南部同時)

提供日 : 平成 28 年 (2016 年) 12 月 27 日 (火)
部 局 : 琵琶湖環境部
所 属 : 滋賀県立琵琶湖博物館
担当者 : 鈴木隆仁
電 話 : 077-568-4812
E-mail : press@lbm.go.jp



琵琶湖博物館 マイクロアクアリウム

国内初! 琵琶湖から発見された群体ヒドラの 生体展示が始まりました

琵琶湖博物館 水族展示のマイクロアクアリウム (微小動物を観察できるコーナー) で、群体性 (多数の個虫が集まり 1 匹の生き物のようにふるまう生物) のヒドロ虫、パキコダイリ (*Pachycordyle kubotai*) の国内初の生体展示を開始しました。

本種は 2000 年に琵琶湖から記載された群体性のヒドロ虫で、琵琶湖博物館では、これを展示可能なレベルで長期飼育することに成功しました。

普段は岩やヨシの表面に定着していますが、今回の展示では水槽の壁面にパキコダイリを定着させることで、棍棒状のポリプと長く放射状に広がった触手だけでなく、壁面を伝うヒドロ根も観察することができます。また、すぐ隣の水槽には「群体を形成しない」ヒドラも展示されており、単体と群体、2 パターンのヒドロ虫ポリプの形態や生活様式を見比べることもできます。餌には、野外と同じミジンコやケンミジンコ、ワムシ類を与えているので、タイミング次第では野生と変わらない捕食の姿を見ることもできます。

展示される *Pachycordyle kubotai* は、現在、琵琶湖以外からの発見・報告例がなく、琵琶湖固有種の可能性がある種です。



淡水に棲むヒドロ虫は、ヒドラやマミズクラゲが知られています。パキコダイリはクラゲを作らず、岩やヨシなどに張り付いて一生をポリプ型で過ごすタイプのヒドロ虫です。各ポリプは竹の地下茎のようなヒドロ根によって繋がっており、ヒドロ根を伸ばしながらポリプを増やしていく様子は竹林が広がる様子を彷彿とさせます。